

議会だより そとがはま

第51号

平成30年2月

議会を傍聴しませんか

◆次の定例会予定

3月9日(金)~16日(金)

外ヶ浜町公式ホームページ ● <http://www.town.sotogahama.lg.jp>



1/17雪遊び（風のまちこども園）

目次

○第101回12月定例会／2～4

○第102回臨時会／5

○一般質問：4議員が登壇／6～9

○議会活動報告／10

外ヶ浜中央病院 病床数4減可決

12月定例会

平成29年第一〇一回定例会は、12月5日と6日の2日間の日程で開催しました。

補正予算案、町条例の一部改正案など合わせて8件を審議し、原案のとおり可決しました。

一般質問は、4人の議員が登壇しました。内容については、通告順に6〜9ページに掲載します。



将来展望を見据えた対応が必要 今後の地域医療を支える人材を探している



平成30年1月1日から病床数 44床になった外ヶ浜中央病院

入院患者は

問 高齢化が進んで入院患者が増えると思うが、考えは。

答 今年4月末で医師1名が退職して、常勤医が6名体制から5名になり、医師の充足率も低減した。患者さんが増えれば医師の数も必要となるが、医師確保は非常に難しい問題である。現状では満床に近い入院患者を抱えると医師の充足率をクリアできない。充足率は70%を下回ると入院基本料の10%削減のペナルティがある。医師の数という観点からも適正と考える。

療養型はどうか

問 平内中央病院でもベッド数を少なくし、療養型でベッド数を確保しているが、様々な利用の仕方でも維持していくことは可能か。

答 療養型を院内でも検討したが、廊下の幅など建物の基準がクリアできなく断念した経緯がある。

医師確保は

問 あと5年くらいで定年を迎える医師もいて継続できるか不安がある。県と連携し医師の確保、中堅、若い医師を常駐させるための将来展望を見据えた対応

◎定例会において審議された町条例の一部改正案は、次のとおりです。

■特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案

■病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例案(2〜3P質疑掲載)

■公民館の設置、管理等に関する条例の一部を改正する条例案(4P質疑掲載)

一般・特別会計	補正額	補正後の予算額
一般会計	5,469万円	59億612万円
介護保険特別会計	2,315万円	12億5,016万円
大字費特別会計	146万円	276万円
下水道特別会計	11万円	2億7,962万円

企業会計	補正額	補正後の予算額
簡易水道事業会計(収益的収入支出)	85万円	2億6,185万円

病床利用率は

問 病床数はもともと50床だったが、前は機械の配置のため2床減で、今回新たに4床減と提案されたが、病床利用率は。

答 平成27年度は、89・59%、28年度は84・90%、29年度は10月まで、84・88%である。

戻すことは

問 一旦削減した場合は、50床や48床に戻すことができないと思うが。

答 県内の病院数及び、病床数が過剰という位置づけであり、一旦削減した分を戻すことは不可能である。

応が必要だと思うが、考えは。

答 誰でもいいから1人でも、若い医師を連れてくればいいという問題ではない。地域医療ということである患者さんが来る現状で、限られた専門医

という中で一生懸命頑張ってくれる方、しっかり働ける方、コミュニケーションがとれた上で技術がある方を探している。時間はかかるが、今後の地域医療を支える人材となっていたきたい。

【賛成7・反対3】

反対討論

原 芳雄議員

入院患者数が少なくなり、医師の不足があることから病床数を減少していくことは、将来非常に問題を残すと思う。6月定例会で外ヶ浜中央病院の問題について、町長からは必ずしも医師が不足しているわけではないという話も出た。しかし、そうではなく最大の取り組みとして医師をどう確保していくか、それによって入院患者も地域の方々の医療も守られていくという形になるので、病床を削減することに反対する。

第102回臨時会は、12月18日に開催され、補正予算案、町条例の一部改正案、公の施設の指定管理者の指定について等36件を審議し、原案のとおり可決しました。

■議案は、青森県人事委員会の勧告に伴うもので外ヶ浜町議会議員期末手当支給条例の一部を改正する条例案、外ヶ浜町特別職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案、外ヶ浜町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案とそれに関連する補正予算案です。

一般・特別会計	補正額	補正後の予算額
一般会計	804万円	59億1,417万円
国民健康保険特別会計	73万円	13億1,802万円
介護保険特別会計	56万円	12億5,072万円
下水道特別会計	7万円	2億7,969万円

企業会計	補正額	補正後の予算額
簡易水道事業会計 (収益的収入支出)	26万円	2億6,212万円



総合福祉センター「などわー」健康浴場
管理者 太平ビルサービス株式会社



湯の沢温泉
管理者 平館観光協会



観瀾山公園及び風のまち交流プラザ
管理者 東洋建物管理株式会社

公の施設の指定管理者決定

指定期間は、平成30年4月1日から平成33年3月31日までです。



総合交流促進センター
管理者 株式会社大豊



おだいばアウトビレッジ
管理者 平館観光協会



三厩健康増進センター
「みんまやよしの湯」
管理者 太平ビルサービス株式会社

施設名	管理者
龍飛崎シーサイドパーク	青函トンネル記念館
中山間地域活性化施設	平館観光協会
蟹田駅前広場	蟹田駅前広場物産施設運営協議会
健康増進センター	蟹田1区
漁業作業保管施設	外ヶ浜漁業協同組合
水産物鮮度保持施設	外ヶ浜漁業協同組合
水産物荷捌き施設	外ヶ浜漁業協同組合
山村広場	今津自治会
おかりや公園	平館自治会
石崎農村公園	石崎自治会
玉川農村公園	野田自治会
平館農村公園	平館自治会
穀類等乾燥調製貯蔵施設	青森農業協同組合
デイサービスセンター	社会福祉協議会
蟹田在宅介護支援センター	社会福祉協議会
龍飛コミュニティセンター	龍飛地区会
檳榔コミュニティセンター	檳榔地区会
六條間コミュニティセンター	六條間地区会
磯山コミュニティセンター	磯山自治会
舟岡コミュニティセンター	舟岡自治会
今津コミュニティセンター	今津自治会
弥蔵釜コミュニティセンター	弥蔵釜自治会



平成30年4月1日から廃止となる三厩公民館

三厩
公民館

来年度以降廃止

問 公民館での様々な行事はどこまで引き継ぐのか、また仕事は。
答 三厩公民館の機能は、廃止後に4月1日から体育館に移転となる。社会教育課の管理になり、使用するのは体育館のうち補修した調理室、会議室、和室である。公民館事業は、体育館に向いて事業を行う。各団体は、今年3月まで三厩公民館を利用できるので、その期間にお知らせする。
問 今後の三厩公民館の活用方法はどうか。
答 4月以降は機能廃止となる。使用料は、一時間あたり公民館は200円、体育館の会議室は700円となる。



三厩支所図書室



三厩公民館機能は三厩体育館へ

ているが、地区の方の利用は、ほぼ減免して無料で使っている。今後も不便をかけたくないよう運営していきたい。
問 三厩公民館の図書はどうか。
答 昨年、三厩支所の部屋の一部を借りて三厩公民館にあった図書を整理して置いている。活用は、今までどおりとする。

公民館の設置、
管理等に関する
条例の一部改正



原 芳雄議員

制度改正に伴う国保税の値上げは許されない

■答弁▼現在のところどうなっているかわからない

◆質問／国民健康保険法の改正で、国保運営を県と共同で担う事になったが平成30年度の実施まで3カ月ちょっととなった。保険税額などが不透明のままであるが、何が決まって、何が決まっていないのか。

■町長／県が主体になって進めているが、決まったのは県に納める納付金の査定方法と激変緩和措置の内容で、決まっていないのは平成30年度の納付金と標準保険税率の数値である。

◆質問／新聞紙上では外ヶ浜町は医療費が県下で2、3番目に高いとされているので保険税は上がるだろうと報じられている。下がるのであれば

まだしも町民への周知の期間もなく混乱を招く。いつの段階で町民と議会に説明できるのか。

■住民課長／平成30年度の予算案が3月議会にかかるのでその段階で議会にお示しする。国保税は所得確定後になるので6月の段階で一人当たりの税額が示される。

◆質問／国保税は高すぎる。制度改正による値上げはあってはならない。最大限の努力をさせていただきたい。単身のパート労働者で相当無理して頑張って年収150万円になった。月平均では12万5千円の収入であるが、国保税は14万円であった。この方には資産割がなかったがあれば

もっと高くなっていた。丸々1カ月分の収入を国保税として納めなければならぬので高いと悲鳴をあげるのには当然である。

■税務課長／家族数によって軽減措置があるが一人暮らしで適用にならないため、12万5千円の給料に14万円は高いと思うが致し方がなかったかと思っている。

患者さんに寄り添った配慮を

◆質問／三厩診療所は月水金の午前中のみ診療で、診療所以北の方々は診療開始が9時30分であるが診療所7時18分着か9時13分着の循環バスで

通院し、帰りは診療所前10時40分のバスを利用している。これに間に合わない時は2時間待って、12時39分のバスになる。そこで間に合わなかった患者さんをワゴン車などで送っていく対応が必要でないか。

■町長／町の循環バスは津軽線の接続を基本として住民の交通手段の確保を図っている。同時に診療所へのアクセスや外ヶ浜中央病院への通院のための運行も行っている。今後利用者の状況等やJRのダイヤ変更等を見ながら検討する。

◆質問／間に合わないのは5、6名程度で、以前は間に合わなかった時は診療所から支所に電話を



三厩診療所にてバスに乗る様子



石岡 勉議員

学校再編について

■答弁▼今後もお互いを理解しながら進めていく

◆質問／各学区の現状と今後の推移、平成30年度に平館中学校と蟹田中学校の統合について。

■教育長／町内の小・中6校の児童生徒数の予測推移は、平成28年度は285名、平成29年度は22名減少し、263名。平成35年度には185名と、平成28年度に比べ100名の減となる。平館中学校は来年度入学予定者が3名いたが、蟹田中学校への学区外就学を希望している。また平館小学校は、来年度入学者3名中2名が蟹田小学校への入学を希望している。

◆質問／平館の学区の父母の皆さんと先月から1、2度会合を持たれたようですが、学区の父母の考え方に変化があるか。

◆質問／町長が考える、よりよい教育環境とは。■町長／各学区の児童生徒数は、年々減少し、特に中学校は受験体制が手薄となっている。また、部活動や生徒会活動、人

間関係づくりにおいても少人数であることで限定されてしまう。人間関係は中学生の若い時代に少しでも多くの人間と知り合って、集団の中で切磋琢磨することも非常に重要なことと考えている。よって、よりよい教育環境を整備するため、各地区に応じた取り組み、対応が必要と考え、統合や小・中学校の一貫教育、さらには行政区割りを超えた統合なども早急に考えている。

蟹田塩越地区にある旧水産加工場について

◆質問／当該施設は現在、町有財産となっているが、屋根の崩落、外壁が剥がれて、中の鉄骨等が見え



蟹田塩越地区 旧水産加工場

る状況である。強風等で建設材料が飛散して事故等があった場合、町が責任をとらなくてはならない。早急に解体、撤去をやらなければならないと思うが。

■町長／旧水産加工場は、町が今年の5月に取得をしたが、放置状態が長年にわたることで、崩壊等が進んで危険な状態であるため、町として危険進

入禁止の応急措置をしている。撤去等に係る経費は専門業者に確認してもらう必要がある。この確認も経費が伴うことが予想され、財政状況を見ながら早い対応をしていきたい。

◆再質問／実書が起きてからでは遅い、とにかく片づけてしまうことが先決だと思うが、今まで積算はしたのか。■総務課長／専門の業者に依頼したわけではないが、2000万円くらいはくだらないと思う。◆質問／撤去した後はどう活用するのか。■町長／現段階ではこれといって有効なものがない、解体撤去の目処がついた時点で地域など各方面からの意見を伺いながら進めていく。



記田慶市議員

広域事務組合外ヶ浜分署の新築計画は

■答弁▼早い建設を進める

◆質問／第2次外ヶ浜町総合計画では平成30年度と平成31年度で建て替えするとなっているが関係団体との協議状況は。

■町長／外ヶ浜分署については、建物の老朽化等により早急に実施する必要がある。現段階では蓬田村と事務レベルで話を進めており、広域事務組合との情報交換など具体的な計画を作成し早い建設を進めたい。



むつ湾フェリーの累積赤字処理に係わるむつ市の対応は

◆質問／平成27年2月5日、新聞報道された、むつ湾フェリーの累積赤字が多額となり破綻の恐れが指摘された。

この処理として青森県7割、外ヶ浜町2割（1,045万円）むつ市1割負担が示されたが、9月時点でむつ市の負担が実

行されていないことが判明した。その後の状況と、今年の営業状況は。

■町長／平成23、24年度の実質赤字に伴う財政支援は質問の負担割合の拠出で運航資金の充当を見込み、現在も県担当課からむつ市に対し協力依頼をしていると聞いている。今年の営業状況は5月にスクリーンの故障休業などで厳しい状況にある。

旧3町村の観光協会統合への現状は

◆質問／新町となって主な団体で一本化されていないのは観光協会だけと思いが見通しは。

■町長／合併以来何度か

合併16年度目からの自主、自立財政への準備と1年度ごとの検証は

◆質問／合併15年であらゆる優遇された交付金、助成金がゼロとなる。16年目以降から独り立ち出来る財政運営を総務省から強く言われている。それに向かつての準備状況は。また単年度ごとの計画の検討は。

■町長／合併当初から職員の見据えながら、

の支給の据え置きと緊縮財政に努めてきた。予算編成に当たっては常に過大計上を抑制し、大型事業の実施については特別地方交付税による有効な事業実施計画を進めていきたい。

町債の発行を抑制しながら町村合併に至った経緯を鑑み合併16年目に向かって進めていく。また、単年度ごとの実績検証は施策ごとに数値目標を設定しており、総合的な数値検証は人口推計の経過に着眼点を置いている。人口減少対策には出産、子育て、住まい、雇用、産業の各分野で町独自の展開を模索していく。



安藤英博議員

小・中学校の学校給食費の無償化を

■答弁▼町財政状況等を見据えながら、今後の対応について検討したい

◆質問／子ども達の人数も年々減少してきているが、若い世代の子育支援を行政がすることで、この町に住み続けたい、そして子どもをこの町で育てたいという願いに町はこれまで以上に

◆再質問／県内でも給食費の無償化の町村が次々と増えてきている。子育て支援対策は急務であり行政として、もっとも大事な課題であるので、是非思い切って決意していただきたい。

■教育長／町の財政状況や他の施策等を十分見据えながら今後の対応についてできるだけ前向きに検討してまいりたい。

商店等へのリフォーム助成制度の実施を

◆質問／住宅リフォーム助成制度が実施され、たいへん町民や業者にとっ

◆再質問／商店や各事業者が減っていくことで町から若い人が町外に出てしまう。人口減少対策のためにも大きな課題でも

の商店数がどれくらい減っているのか。原因は何なのか。町はどの把握しているのか。対策や対応を行ってきたのか報告していただきたい。

■町長／商店等のリフォームについては特段の支援は行っていない。各種資金融資制度を活用していただいている。

■産業観光課長／店舗数は全盛期の半分くらいに減少している。今後の対策、調査も必要ということで商工会のほうと詰めている。



あり緊急に対策を進めていただきたい。

■産業観光課長／現状を把握してどのような手段を講じたらよいか今後検討してまいりたい。

◆町長／平成26年度から学校給食費の3割補助、今年の4月からは半額補助を実施している。今後の対応については改めて検討



三厩龍浜地区火災現場視察

住家6棟、非住家5棟全焼、6世帯が被災された大規模火災



階段国道に隣接している火災現場



町長他関係課長が同行し被害状況確認
火災の大きさを目の当たりにした様子

去る1月18日未明に発生した三厩龍浜地区の火災では、11棟を全焼する被害となりました。これを受け外ヶ浜町議会では1月22日、急遽、議長の招集により、被害状況の把握のため現場視察を行いました。

議員説明会

現場視察後は、被災者に対する支援が緊急を要し、行政との連携を密にしなければならぬと判断し議員説明会を開催しました。



役場本庁において詳細な説明を受ける様子

議会を傍聴してみませんか。

議会は公開が原則になっています。町民の皆さんの傍聴を、お待ちしております。

3月定例会は、3月9日開会予定です。

議会だよりにご意見をお寄せ下さい。

議会だよりは、住民の皆様と議会のパイプ役です。議会だよりに対するご意見や、議会だよりを見て感じたことでも結構ですのでお寄せ下さい。

紙面でご紹介させていただきます。

議会広報特別委員会

編集後記

新しい年を迎え町民の皆様いかがお過ごしでしょうか。連日の雪かきでお疲れの事と思います。

さて今年には平成30年ですが、最近では西暦で表記される事が多くなりました。これも国際化の波？または不便だからなのかもしれませんが、昭和生まれの私にはちょっと戸惑いがあります。やはり日本人としては日本の元号を大切にしたいと思う気持ちがあるからです。また来年には元号が変わるようですが、どんな元号になるのか楽しみですね。平成30年も議会広報の内容充実に向け、委員一丸となり頑張っておりますので、よろしくお願いたします。 浜谷 恭市

議会広報特別委員会

委員長：安藤英博

副委員長：三上 満

委員：浜谷恭市/福井賢一郎

原 芳雄/石岡博英

記田慶市